TEENS 便り

2026年 夏　No.40



作品提供：ペンネーム つぐろう さん
（京都市立開建高等学校）

吉祥院図書館 teen’s ウィーク
毎月開催中です！

吉祥院図書館 teen’s ウィークってなに？

毎月１０日～１９日（teen）に開催！
テーマに沿ったおすすめの本を、
ティーンズコーナーに展示しています！
展示している本は借りられます。

京都市吉祥院図書館
〒601-8349　京都市南区吉祥院池田町１
（市バス「吉祥院前田町」）
電話番号：681-1281　FAX：681-3202



吉祥院図書館の HP もチェック！→

40号のテーマは「何度も読みたい！」

『TEENS便り』は今回で40号を迎えます！ 記念すべき40号では、吉祥院図書館の司書が「ぜひ何度でも読んでほしい！」と思う本を選びました。
全て吉祥院図書館にある本です。貸出中の場合は「予約」もご利用いただけます。

瀬尾 まいこ／著
『戸村飯店青春 100 連発』
（文藝春秋刊）



器用で自由奔放な兄と、不器用ながら明るく誰からも愛される弟。対照的な兄弟の苦悩と成長の物語。人と自分を比べてしまうとき、人から認められなくて苦しいとき、心の支えとなる1冊です。

サン=テグジュペリ／作、内藤 濯／訳
『星の王子さま』 オリジナル版
（岩波書店刊）



砂漠に不時着したパイロットが出会ったのは、違う星から来たという王子さま。パイロットと彼の交流は、人生において大切なことを読者に教えてくれます。大人になっても宝物に思える物語です。

鴻巣 麻里香／著
『わたしはわたし。あなたじゃない。』
（リトルモア刊）



この本では、人間関係でのモヤモヤした気持ちについて、様々な話を通して考えます。「あ、ちょっとしんどい」と感じるのはなぜか、そんな時どうすればいいかを考えるヒントをくれる本です。

酒井 順子／著
『徒然草 REMIX』
（新潮社刊）



「徒然草」を推します。今読むのと、年を重ねてからの心への沁み具合は全然違います。「熟成」の過程を楽しんでください。いきなり原文はムリという人には、手始めにこの本をおすすめします。

マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく、
レナード・ワイスガード／え、うちだ ややこ／やく
『たいせつなこと』
（フレーベル館刊）



「ありのままのたいせつさ」が詰まった1冊です。2人の作家と、うちだ ややこさんの静かで力強い訳が、他者にとっての「たいせつ」と自分にとっての「たいせつ」とは何かを教えてくれます。

版元品切れ・電子版配信中
※吉祥院図書館は単行本を所蔵（2026 年7月現在）
※京都市図書館電子書籍サービスではご利用いただけません。